

☆実現☆

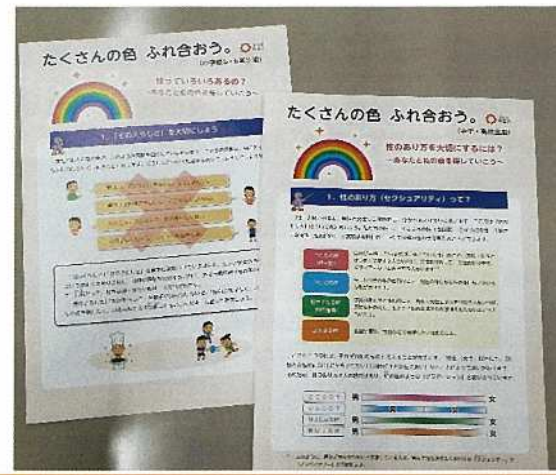
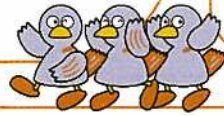
条例改正案可決

令和3年6月定例会一般質問において、**公衆浴場法施行条例の男女の混浴年齢を引き下げるべき**という発言をしました。

令和4年2月定例会で第35号議案として同条例の改正案が提出され、総員をもって可決となりました。

現行の制限年齢を「**10歳以上**」から「**7歳以上**」に引き下げることとなりました。

周知期間が必要なため、施行期日は令和4年10月1日となります。



☆実現☆

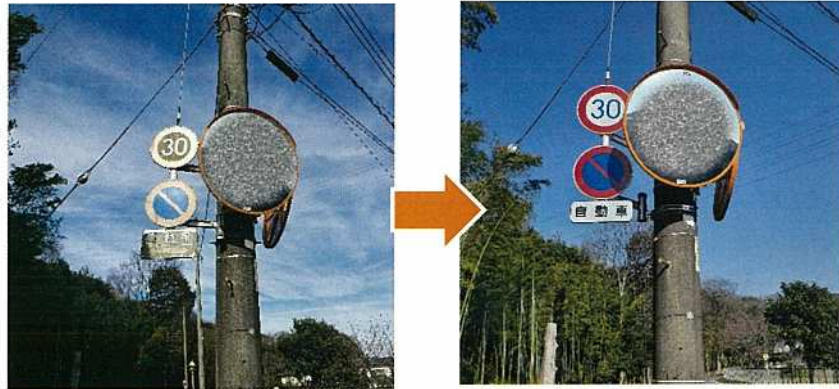
LGBTQ啓発

令和3年6月定例会一般質問において、**多様性を認め合える学校教育に力を入れては**という発言をしました。啓発のための冊子が令和3年度に作成され、県内小中高等学校に配布されました。

交通安全対策は警察が所管しているため、**県議会議員となりご意見・ご要望を多くいただきます。**

信号機の新設や規制をかけるものは時間がかかりますが、比較的早く対応できるものもあります。一例として3月に直すことができた道路標識です。

引続きご意見・ご要望の現場確認などおこなってまいります。



埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女子学園高等学校、フェリス女学院大学 文学部卒業 明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 修了。
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・2015年5月~2019年3月 川口市議会議員
- ・2019年4月~ 埼玉県議会議員
- ・所属委員会 総務県民生活常任委員会 自然再生・循環社会対策特別委員会 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 図書室委員会
- ・趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、筋トレ、フラワーアレンジメント
- ・好きな食べ物 チョコミント味のもの
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける
- ・Facebookをやっています「岡村ゆり子」で検索してください。



★★★★ やめよう無関心。まちの未来はあなたから ★★★★★

(討議資料)



Happy Riri 岡村通信

Yuriko Okamura



発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL.048-229-0530

Vol. 43 2022. 4

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

令和4年2月定例会

埼玉県議会令和4年2月定例会は、2月17日(木曜日)から3月25日(金曜日)まで行われましたのでご報告いたします。

開会日 2月17日

知事提出議案について、知事から提出説明が行われました。

代表質問 2月24日・25日 一般質問 2月28日~3月3日

代表質問は我が会派からは、岡重夫代表(白岡市)が登壇しました。一般質問並木正年議員(鴻巣市)と松坂喜浩議員(東松山市・川島町・吉見町)が登壇いたしました。

文教常任委員会 3月4日

<付託議案4件>

- ・自然と川の博物館の運営に関わる費用について
- ・県立学校建物等維持管理に関わる費用を来年度に繰り越すことについて 等

<行政課題の報告>

- ・不登校児童生徒への支援の充実について
- ・埼玉県特別支援教育推進計画(案)について

<岡村質疑(一部抜粋)>

- ・不登校特別校の設置についてはこれまで市町村から相談や要望はあったのか
- ・計画(案)にサポート手帳の更なる活用とあるが内容が古いように感じる。改訂はされているのか

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 3月7日

<岡村質疑(一部抜粋)>

- ・ワクチン検査パッケージの県外への周知は
- ・障がい者が陽性となった時の対応は。国から通達があったように障がい者の宿泊療養施設はあるのか

少子・高齢福祉社会対策特別委員会 3月8日

<報告内容>

- ・子育て支援について
- ・児童虐待防止対策について

<岡村質疑(一部抜粋)>

- ・放課後児童クラブの開所時間はどのようになっているのか
- ・児童虐待被害者が相談できる体制づくりや支援が必要と考えるがいかがか

閉会日 3月25日

討論・採決が行われ、令和4年度当初予算案には一部附帯決議がついたものもありましたが、提案された議案はすべて原案通り可決となりました。



～新たな150年に向けた挑戦～

①直面する危機からの脱却

②日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

一般会計 **2兆 2,284億 5,900万円** 過去最高 前年度比 +5.1%

(全会計合計 **3兆 6,455億 5,320万 1千円**) 前年度比 +4.1%

主な新規・拡充事業

新規 感染症専門人材の育成 3,053万円

・県内の病院又は有床診療所に勤務する医療従事者を各医療機関等において感染症対策のリーダーとして活躍できる専門人材に育成



年度	令和4	令和5	合計
受講者数(人)	343	199	542

新規 救急・周産期医療への助成 6億8,000万円

・新型コロナウイルス感染症患者の受入体制を継続し、救急等の医療提供体制を確保する医療機関を支援

一部新規拡充 行政手続のオンライン化の推進 1億8,833万円

◆DX実現に向けたデジタル基盤の整備

・ワンストップ化に向けたWEBデータベースの拡充
・県保有データの情報連携基盤整備に向けた調査

◆物品等入札参加資格申請のデジタル化

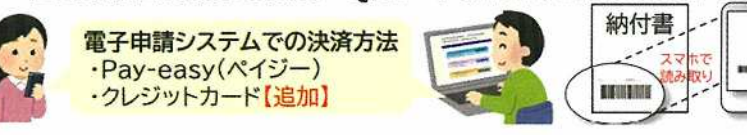
・添付書類のオンライン化、審査のデジタル化

◆県営住宅入居申込のデジタル化

・スマートフォン等を利用したオンライン手続きの導入
・デジタル化により複雑な入居制度をわかりやすく案内

新規 公金収納のキャッシュレス化の推進 1億9,537万円

・電子申請システムにクレジットカード決済機能を追加
・放置違反金の納付にスマートフォン決済アプリを追加
・全ての税目の納付書に統一QRコードを印刷するためのシステム改修



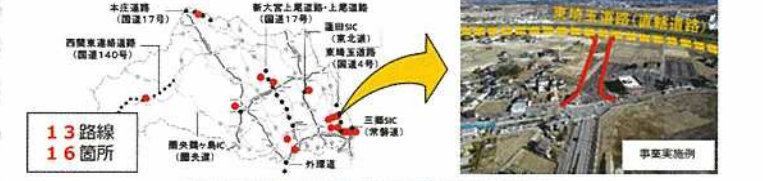
拡充 「あと数マイルプロジェクト」の推進 47億9,801万円

◆県内公共交通網の充実に向けた鉄道の延伸の調査検討

・埼玉高速鉄道線延伸の鉄道事業者への事業実施要請に向けた共同調査
・東京12号線、東京8号線、日暮里・舎人ライナー、多摩都市モノレールの延伸に係る課題解決のための調査検討

◆直轄事業と連携した骨太の道づくり

・国が施行する直轄道路事業と連携した道路整備の推進



公共交通や道路網の更なる利便性の向上

新規 児童虐待防止対策の強化 2,197万円

◆児童相談所業務のICT化

・音声認識システム、児童虐待の類似事例検索機能の追加によるノウハウの共有と業務の効率化

新規 高齢者の活躍支援 3,866万円

◆シニアの働く場の拡大

・セカンドキャリアセンターに専門チームを新設し、シニア求人の開拓を強化
・新たに開拓した求人企業を中心とした合同面接会を開催(年10回)

令和4年6月定例会において一般質問登壇予定です。これまでいただいたご意見や調査事項を基に鋭意準備中です。

一部新規拡充 多様なニーズに対応した教育の推進

◆特別支援学校の整備 48億9,513万円

・児童生徒の増加に対応するため、特別支援学校を整備

事業内容	設置場所(開校等予定年度)	設置規模
新校設置	県東部地域特別支援学校(仮称)(R5) *旧岩槻特別支援学校跡地	200人
高校内分校の設置	狭山清陵・白岡・鳩ヶ谷高校内(R5)	144人
	大宮商業・新座柳瀬・三郷北高校内(R6)	144人
既存校の増築	川越特別支援学校・三郷特別支援学校(R5)	144人
	川口特別支援学校(R8・R10)	174人
計		806人

◆いじめ・不登校防止対策 9億7,825万円

・スクールカウンセラー(SC)等の配置
・スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置拡充
・SC(週5日)及びSSW(週2日)によるオンライン相談を導入

◆学習環境のデジタル化 7億5,702万円

・新たな指導用端末等の整備
・「GIGAスクール運営支援センター」の開設

新規 スポーツの振興 5,391万円

◆屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の整備に向けた調査・検討

・屋内50m水泳場のPFI事業実施に向けたアドバイザー業務委託など
・スポーツ科学拠点施設の事業手法、整備範囲の検討

◆女子サッカーの気運醸成

・WEリーグの県内チーム同士の試合「埼玉ダービー」時のイベント開催
・親子サッカークリニックの開催

☆実現☆

令和3年6月定例会一般質問において、学校教育現場において、当事者の相談体制の強化と保護者への理解を進めることについて発言しました。

一部新規拡充 LGBTQへの支援 2,418万円

◆県民・企業の理解促進

・企業向けオンライン研修の実施
・企業を対象としたLGBTQ指標制度の導入
・大学生向けに、アライを増やす取組を実施

◆相談窓口の設置

・SNS、電話によるLGBTQ専門相談窓口の設置
・企業の取組支援のための企業向け相談窓口の設置

◆安心して生活できる環境づくり

・県の制度や取組を検討するための当事者を交えた懇話会の開催

◆性の多様性を尊重した教育の推進

・性的指向や性自認に悩む高校生を対象としたオンラインサロンと相談会の実施
・性の多様性の理解促進を目的とした保護者向け動画の作成

一部新規拡充 交通安全対策の推進 1億4,678万円

◆子どもの命を守る通学路緊急対策

・ガードレール等による安全対策の実施

◆歩行者用灯器の増設

・歩行者用の信号機を新たに設置
・信号機をより見やすくすることで、通学児童の安全を確保

◆高齢者の運転免許更新時等の認知機能検査へのタブレット端末の導入

・検査・採点時間の短縮による受検者の負担軽減と受検枠の拡大
・接触機会の低下による感染症対策

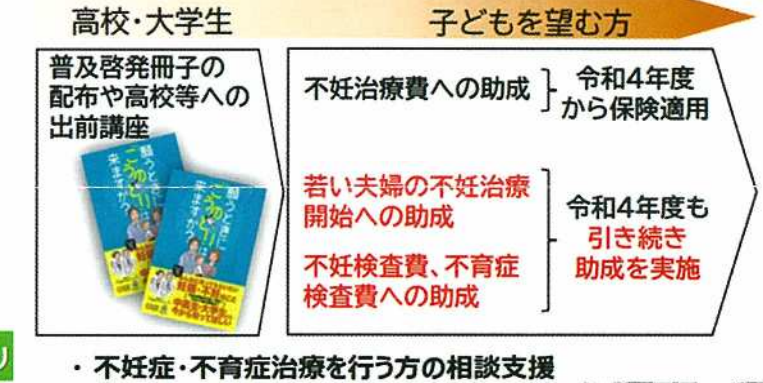
☆実現☆

令和3年6月定例会一般質問において、不妊症に関する性教育を行い、普及啓発をすべきという発言をしました。

一部新規拡充 きめ細かな少子化対策の推進 1億6,125万円

◆不妊症・不育症に悩む方への支援

・若い夫婦の不妊治療開始への助成
・不妊検査費、不育症検査費への助成
・若い世代から不妊に関する普及啓発



～令和4年所属委員会～

- ・総務県民生活常任委員会
- ・自然再生循環社会対策特別委員会
- ・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- ・図書室委員会



ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット
「コバトン」



川口市のマスコット
「きゅぼらん」

発行責任者
無所属県民会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 44 2022. 6

川口市の花は鉄砲ユリです

皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

屋内50メートル水泳場整備事業

これまで本県には、県営の屋内50メートル水泳場がなく、厳しい環境で頑張っている水泳競技の選手たちの願いと、県民の健康増進のためプールを建設してほしいという熱い思いがありました。

川口市は、水泳王国と言われており、県内の水泳競技を牽引してきた歴史があります。併せて最適な整備場所として挙げられた「**県域全体を見据えた有効性**」「**今後の埼玉を見据えた将来性**」「**県民全体の有益性**」の3つの視点にも合致することから、**神根運動場及び神根公園に整備**することが令和3年3月に決定いたしました。

多くの皆様からご質問をいただくことが多い事業であり、令和3年6月の一般質問においても**川口市との連携**はじめ様々発言いたしました。令和4年度はいよいよ計画を実施していくための予算が計上されていますのでご報告いたします。

1. 整備施設

メインプール、飛込プール、観客席、サブプール、大会諸室、競技力向上施設

2. 整備場所

下水道本管と高圧線を鑑み、神根公園(現況図参照)

3. 事業構想

- (1)川口市北スポーツセンター(公民館を含む)との合築
- (2)土地は川口市から無償貸与、合築における整備分担や費用負担は今後川口市との協議により決定
- (3)事業手法はPFI方式(建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法)とし、運営期間は15年

4. 事業費(令和4年3月時点の建設単価等に基づく試算)

- (1)整備費 約130億円
- (2)運営費 支出額 約4.4億円/年
収入額 約1.2億円/年

5. スケジュール

- 令和4・5年度 要求水準書の作成、事業者選定
- 令和6年度 設計 令和7・8年度 工事
- 令和9年度 開設を想定



神根運動場及び神根公園現況図

Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

議会改革

所属会派・無所属県民会議では、平成31年の改選を機に、埼玉県議会で取り組むべき改善点について議論を重ねてきております。その内容を要望書として取りまとめ、毎年議長宛に提出しています。今任期には、我々も予てより要望してきた「一般質問の一問一答式の導入」をはじめ、「ペーパーレス化の推進」「オンライン委員会の開催」が本格的に実施されるなど、議会改革について多くの進展をみる事ができましたが、これらの改革も前任期中の議論が基礎となっていることも多いことから、改選を来年に控えた今年度における議会活性化の議論は大変重要です。

そのためにも議長の更なるリーダーシップの発揮を求め、5月19日に要望書を提出しました。

以下要望事項の一部抜粋となります。

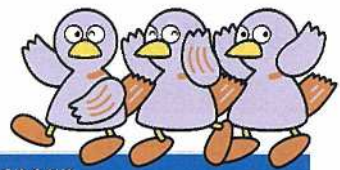
【議案審議】 ○議員提案政策条例を提案する際、一般質問最終日に条例案文を示してから審査を行う常任委員会までの期日が短いことから、審査時間を確保できるよう日程を再考すること
○各会派が提案した意見書(柱・案文)の県議会 HP 掲載

【委員会】 ○常任・特別委員会のインターネット中継 ○特別委員会の設置数の精査・縮小 ○委員長報告において各会派の発言を公平に取り上げ、委員会における多様な審議を県民向けに発信すること

【視察】 ○視察の効率化 ○視察費用の削減(日当)

【政務活動費】 ○会期中の議事堂から視察へ向かう際の交通費支給のルール見直し

【議員の報酬・定数・身分】 ○費用弁償の見直しに関する全会派参加による検討の場の設置
○県議会議員選挙区の区割・定数検討会の早期の設置、検討の開始



新型コロナウイルス感染症対策

屋外・屋内でのマスク着用について

○マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

○屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

○屋内では、人との距離(2m以上を目安)が確保でき、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

【屋外】

距離が確保できる	距離が確保できない
マスク不要なし	マスク着用推奨
会話を する	会話を ほとんど 行わない
公園での散歩やランニング、サイクリングなど	散歩や自転車での運動など、屋外で人とすれ違う場面

【屋内】

距離が確保できる	距離が確保できない
マスク着用推奨	マスク着用推奨
会話を する	会話を ほとんど 行わない
スーパーやコンビニなどの買い物、飲食店での利用	通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

就学児について
(小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面

屋外

- 人との距離が確保できる場合
- 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞遊んで行う運動性活動
- ＜例＞遊んで密にならない外遊び
- ＜例＞屋外で行う教育活動(自然体験・厚生活動等)

屋内

- 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞屋外で行う運動や遊び場を借りた学習

学校生活 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際※運動部活動において運動を行う場合は、各競技団体の作成するガイドライン等を参照しましょう。※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう。

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の就学前児について

2歳未満
マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども
他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

息苦しいポイント

夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

※そのほか場面に応じた、種別分けされている対策がある場合、それらも必ず実施をお願いします。

5 親子の面会交流について

父母が離婚した後などの親子の面会交流については、民法第766条で規定されている。また、その面会交流の方法等については、父母の協議で定めることができ、協議が調わないときなどには家庭裁判所が定めるものとされている。子を監護しない父母の一方と子が定期的に面会等の交流を持つことは、一般的には、子どもの福祉を害しない限り、子どもの健全な成長のために好ましいことであると理解されている。

(1) 面会交流支援団体の周知を

岡村質問：面会交流を必要としている方に必要な情報がいきわたるよう、面会交流支援団体の周知をしていただきたいがいかか。

福祉部長答弁：面会交流の意義や方法についての周知を図るため、新たに県ホームページに面会交流に関する情報を提供するサイトを立ち上げていく。

(2) 第三者機関への委託について

岡村質問：県として第三者機関に委託することにより、面会交流を必要とする方々の負担を軽減できると思うがいかか。

福祉部長答弁：面会交流事業を行っている東京都や千葉県をはじめ、全国15自治体の令和2年度の実績は80ケースに留まっている。どのような方法がよいか第三者機関への委託も含め検討していく。

6 特別支援学校にパワーアシストスーツを

岡村質問：パワーアシストスーツは、身体に装着し、駆動装置や人工筋肉などの動力を用いて人間の機能を拡張・補助する装置。介護、工場、物流、農作業など、あらゆる作業の現場で腰の負担を大幅に軽減することができるとされている。特別支援学校において、導入を検討してはいかか。

教育長答弁：実際に教職員が試着する機会を設け、その有効性を検証するとともに、導入を予定している自治体もあることから、その状況や効果などうかがいながら研究していく。

7 ギフテッドへの理解促進について

岡村質問：子どもの発達障がいや専門とする医師によると、ギフテッドは、障がいや病気といった医学用語ではなく、いわゆる“神が与えた才能（特別なギフト）”を意味する言葉。知的に高い子どもや芸術的才能に優れていて、先天的に平均よりも顕著に高い能力が2つ以上あることとされている。まずは指導する教職員の理解が必要であると考えがいかか。

教育長答弁：国の動向を注視しつつ、現場の声を聴いていく。併せて通常学級だけでなく円滑な学校生活を送ることができるよう、通級指導教室の設置に向けて市町村を支援していく。

8 廃棄物との見分けがつかない資材置き場の監視や指導の強化について

岡村質問：資材置き場の形態は様々でルールが守られていないところもある。県として、資材が廃棄物か見分けのつかないものを置いている資材置き場の監視や指導をしていただきたいがいかか。

環境部長答弁：不適切事案の通報を受けつける廃棄物不法投棄110番を設置し、県民の方から寄せられた苦情に対して迅速に対応するとともに、環境管理事務所職員や警備会社によるパトロールを実施している。今後、県警察とも連携を深め、市町村に意見を求めながら悪質な現場に対する監視や指導を強化していく。



川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。日頃から課題意識を持っているものやいただいたご意見などを基に、埼玉県議会6月定例会で一般質問を行いました。前向きな答弁を得られたものもあります。一般質問特大号としてご報告いたします。(質問・答弁一部抜粋)

《質問項目》

1 更なるひきこもり支援を行えるよう県として実態調査をしてはいかか

2 警察公舎について

- (1) 適切な管理について
- (2) 規模縮小や見直しの考え方について
- (3) 解体や改築などの整備計画策定と公表について
ア 解体や改築などの整備計画策定について
イ 公表について

3 シングルファザーへの支援の充実を

- (1) 男性のための相談窓口の活用について
- (2) 利用しやすい相談体制を
- (3) 必要とする支援制度を利用しやすくすることについて

4 障がい者アートについて

- (1) 企業とのマッチングについて
- (2) 県内施設に展示する際に有料レンタルすることについて

5 親子の面会交流について

- (1) 面会交流支援団体の周知を
- (2) 第三者機関への委託について

6 特別支援学校にパワーアシストスーツを

7 ギフテッドへの理解促進について

8 廃棄物との見分けがつかない資材置き場の監視や指導の強化について



1 更なるひきこもり支援を行えるよう県として実態調査をしてはかがか

岡村質問：ひきこもりとは、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態」を呼ぶ。国が行った調査結果から、ひきこもりの高齢化がわかり若年層だけでなく個人にあった支援が必要とされる。適切でより充実した支援を行うことができるよう、県として実態を把握する調査を行うべきと考えるがいかがか。

知事答弁：市町村の枠を超えて広域に活動している民間団体などを通じ、実態についてヒアリングを行った上で、単なる保健所が把握をしている事実関係の調査にとどめることなく、より深掘りをした形で調査し国に報告する。

2 警察公舎について

警察公舎は、独身寮と世帯用待機宿舎があり、有事即応、組織としての体制強化などが目的で設置されている。新米の警察官は最初の2年間は配属された警察署の管轄区域内に住まなければならないが、原則として公舎に入居しなければならないが、それ以降は埼玉県警察処務規程の規定により埼玉県内並びに本部庁舎から半径25キロ以内の東京・千葉であれば居住の自由がある。令和4年6月1日現在、県内には独身寮が45棟、室数1194室、待機宿舎は108棟、室数1696室、計153棟、2890室。合計しての入居率は令和4年6月1日時点で57.1%となっている。

(1) 適切な管理について

岡村質問：空室が多く、草木は生え放題で、使っていないであろう自転車などもそのままになっている。剪定計画や適切な管理の見回りなどどのようにしているのか。適切な管理をすべきと考えるがいかがか。

警察本部長答弁：独身寮については幹部職員による巡回指導をあらかじめ計画を定めて実施していく。待機宿舎についても本部職員による随時の施設検査の際に併せて建物周辺の状況を確認し、環境整備について管理人を通じて居住者に指導・助言をしていく。

(2) 規模縮小や見直しの考え方について

岡村質問：入居率が約半数の現状もあり、規模縮小や見直しをすべきと考えるがいかがか。

警察本部長答弁：平成29年に策定した「埼玉県警察施設マネジメント方針」に基づき、有事相応体制を維持するための必要性を踏まえつつ、老朽化の程度や現在の入居率を考慮して閉鎖や棟数、部屋数の削減をして改築することを含め、総合的な対応を行っている。

(3) 解体や改築などの整備計画策定と公表について

ア 計画策定について

岡村質問：どのような基準や議論で整備計画が策定され進捗状況はいかがか。

警察本部長答弁：平成29年に策定した整備計画に基づき、警察署単位での警察公舎の必要数を踏まえつつ、スリム化を図ることとしている。168棟あった公舎のうち現在まで15棟を廃止解体。1棟を規模縮小して改築している。

イ 公表について

岡村質問：現在整備計画が公表されていないが、透明性の観点からも公表すべきと考えるがいかがか。

警察本部長答弁：公舎の所在地等の情報が含まれるものであることから、安全面を考慮し公表していない。現在計画の見直しを図っていることから、他府県警察の例を参考にし検討していく。



3 シングルファザーへの支援の充実を

全国のひとり親世帯の数は推計で142万世帯とされている。その内訳は、母子世帯が123.2万、父子世帯が18.7万。ひとり親の7世帯に1世帯は父子家庭になる。ここ数年でひとり親の貧困問題などがクローズアップされる機会が増え、ひとり親が多くの人々の社会問題と関連していることは広く認識されるようになった。しかし、そのひとり親は主に母子、シングルマザーに焦点を当てられることが多く、父子、シングルファザーが抱える問題は見過ごされがちであると感じている。

(1) 男性のための相談窓口の活用について

岡村質問：男性のための電話相談については、月2回のうち1回を平日の夜に変更することや電話のみではなくメールでも相談を受けられるようにしたり、一層の周知や情報発信を行うなど、より多くの方が利用しやすいようにすべきと考えるがいかがか。

県民生活部長答弁：令和4年度は、名刺サイズで作成した相談案内カードを大型商業施設や駅の男性トイレに置いたり、デジタルサイネージ等を活用するなどして、積極的に周知を図る。

(2) 利用しやすい相談体制を

岡村質問：シングルファザーがより利用しやすい相談体制の充実を求めるがいかがか。

福祉部長答弁：相談相手を必要としているにも関わらず、相談件数が少ない理由として、自立支援員による相談窓口の存在がよく知られていないことが考えられる。再度の周知を図るとともに市町村とも連携して離婚時や児童扶養手当の申請時などの機会をとらえて対象となる方に直接周知を図っていく。

岡村再質問：現在の県ホームページにある主な相談事例に「子どもの成長について」などシングルファザーが必要としているものを記載することも利用しやすくなると考えられるがいかがか。

福祉部長再答弁：母子家庭と父子家庭では相談の中身が変わってくるため、父子家庭特有の課題についてわかるようホームページ等の広報を充実させていく。

(3) 必要とする支援制度を利用しやすくすることについて

岡村質問：シングルファザーが必要としている支援のニーズを把握し、市町村と連携して支援の充実や利用しやすいようにすべきと考えるがいかがか。

福祉部長答弁：これまでの支援は、特に収入面でのより厳しい状態に置かれる母子家庭を中心に実施されてきた。また母子家庭の方が父子家庭に比べ世帯数が多いことから、一般的には「ひとり親」すなわち母子家庭のイメージが強い。今後父子家庭が必要としているニーズを把握し、支援の対象であることを改めて強調し、気軽にサービスを利用できる雰囲気醸成できるよう市町村とも連携して広報を工夫していく。

4 障がい者アートについて

(1) 企業とのマッチングについて

岡村質問：障がい者アートの販売が広がらない現実もあるため、より一層の取り組みをしていただきたいがいかがか。

福祉部長答弁：今年度は新たに、県内経済団体や業界団体に協力を求め、会員企業に会報誌などを通じて広く魅力をPRしていく。障がい者アートの芸術的な価値を一層高めるとともに、企業の社会貢献についての理解も深め、企業とのマッチングを促進していく。

岡村再質問：現在作成しているチラシではなく、手にした際にイメージがわかりやすいよう、障がい者アート作家にデザインをお願いしてはどうか。

福祉部長再答弁：今後より企業とのマッチングを進めていくため、新たなチラシを作成する際に、障がい者アート作家に直接デザインをしていただくなど効果的な方法を検討していく。

(2) 県内施設に展示する際に有料レンタルすることについて

岡村質問：県内14か所への常設展示について、無償ではなく有料レンタルで提供し、作り手や団体が定期的、継続的に報酬を得られるようなシステムを構築することはできなか。

福祉部長答弁：まずは障がい者アートの魅力を知っていただけるよう働きかけていく。定期的、継続的な支援は大切であるため、有料レンタルについては先事例を参考にしながら検討していく。



ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」
川口市のマスコット「ぎゅぼらん」
発行責任者
無所属県民会議川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 46 2022. 9

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。朝晩は涼しくなりましたね。6月定例会のご報告
や県の情報などをお伝えいたします。

引続き基本的な感染予防対策を行っていただきますようお願いいたします。

令和4年6月定例会

埼玉県議会令和4年6月定例会は、6月17日(金曜日)から7月7日(木曜日)まで行われ、一
般質問は6月27日に登壇いたしました。

知事提出議案として、原油価格・物価高騰による先行きの不透明さを機敏に捉え、的確に対応できるよう補正
予算が組まれました。

第1・2号補正予算 約27億4,900万円

- 原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者、事業者に対する緊急支援
- 脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進など



第3号補正予算 約8億7,450万円

農作物の回復や次期作等への支援及び農業用生産施設の復旧への支援

～所属委員会報告～

○総務県民生活常任委員会

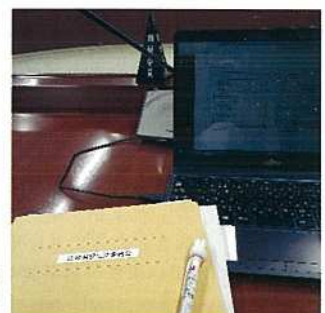
私立学校における学校給食費等の物価高騰相当額の補助を行うこ
とで、保護者負担の軽減を図るため、**4,049万4千円の補正予算**が
組まれました。

○自然再生・循環社会対策特別委員会

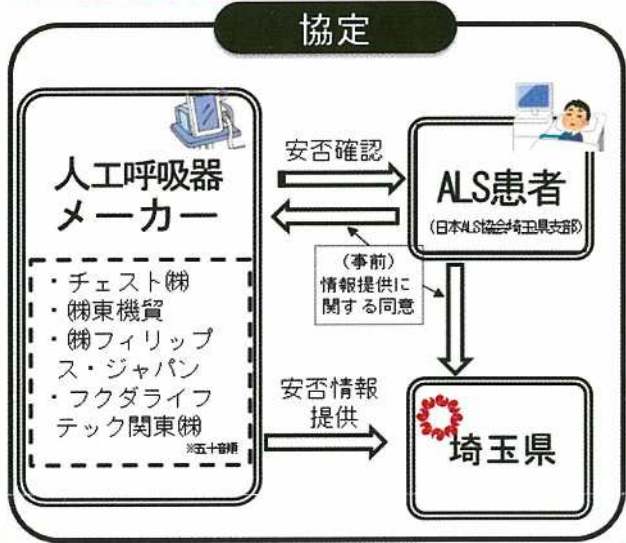
河川の水質保全の推進について報告を受けました。
川の国応援団の活動や登録状況についてなど質疑しました。

○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

第6波における感染症対策の検証と今後の体制構築について
報告を受けました。子どものマスク着用についてや学校給食時の黙食
についてなど質疑しました。



埼玉県は、災害時に在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の安全を確保するための協定を都道府県で初めて締結しました



面会交流

離婚後あるいは別居中に、別れて暮らす親子が面会したり、連絡しあったりすることです。養育費が別れて暮らす子への経済的支援だとすれば、面会交流は精神的支援であり、いずれも親と子の絆を強めるものです。面会交流の取決めは、子どもの気持ちを尊重し、子どもの利益を最優先に考慮しなければなりません。まずは、父母でしっかりと話し合しましょう。取決めの際には、面会交流がスムーズに行われるように、面会交流の内容、頻度などを決め、決めた内容については、後日、紛争が生じないように口約束ではなく書面に残しておくことと良いでしょう。パンフレットに掲載されている「子どもの養育に関する合意書」を参考にしてください。詳しくは、法務省のサイトをご覧ください。

面会交流支援団体

面会交流は、子どもの健やかな成長のために大切なものですが、父母が別居や離婚に至る事情は様々であることから、当事者のみでは面会交流の実施が難しい場合があります。そのような場合には、面会交流に関する支援を行っている民間の団体がありますので利用することも一つの方法であると考えられます。法務省のサイトに面会交流支援団体についての情報や一覧表が掲載されていますので参考にしてください。

＜県HPより＞

☆実現☆ 県ホームページ掲載

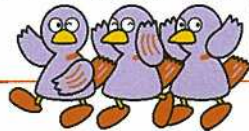
令和4年6月定例会一般質問において、**面会交流と面会交流支援団体の周知を**という発言をしました。埼玉県のホームページに掲載されるようになり、法務省のサイトにも繋がるようになっていました。必要な方に情報が行き届くことを願っています。



交通安全対策は警察の所管で、県道は県が管理するため県議会議員となりご意見・ご要望を多くいただきます。

「歩道に草がかかっている。歩道の両脇にポールがあってベビーカーや車椅子が通ることができない。暗いとぶつかる。」とのご意見をいただき対応いたしました。

引続きご意見・ご要望の対応や現場確認などおこなってまいります。



所属会派・無所属県民会議では、来年度の予算要望に向けて、例年8月末より県内の様々な団体から要望ヒアリングを行っています。

勉強の場にもなりますし、県民本位の県政となるよういただいたお声を届けます。

埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女子学園高等学校、フェリス学院大学 文学部卒業 明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 修了。
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・2015年5月~2019年3月 川口市議会議員
- ・2019年4月~ 埼玉県議会議員
- ・所属委員会 総務県民生活常任委員会 自然再生・循環社会対策特別委員会 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 図書室委員会
- ・趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、筋トレ、フラワーアレンジメント
- ・好きな食べ物 チョコミント味のもの
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける
- ・Facebookをやっています「岡村ゆり子」で検索してください。



★★★★ やめよう無関心。まちの未来はあなたから ★★★★★

〈討議資料〉



ハッピーリリー 岡村通信



Vol. 47 2022. 10

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。あっという間に10月になり、本年も残すところ2カ月を切りました。1日1日を大切にしたいと思います。
さて、今号は9月定例会や要望活動などについてご報告いたします。

令和4年9月定例会

埼玉県議会令和4年9月定例会は、9月22日(木)から10月14日(金)まで行われました。

知事から提出された、**1,765億1,218万9千円**の補正予算は原案通り可決しました。主なものは以下になります。

- ・原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者や生活困窮者等への緊急支援
- ・自殺対策の強化
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止
- ・在宅医療、介護等従事者の安全確保



また、**埼玉県迷惑行為防止条例**の一部を改正する条例では、相手方の承諾を得ず、GPS機器の設置により位置情報を取得する行為等の禁止やつきまとい等における規制対象行為の拡大など改正されます。

～所属委員会報告～

○総務県民生活常任委員会

5つの議案を審議し、**障がい者スポーツ実施環境の構築支援事業**について、以下質疑しました。

- ・障がい者スポーツ用具の購入とはどのようなものを購入するのか
- ・何校の特別支援学校で購入するのか など

○自然再生・循環社会対策特別委員会

農林業・農村部の循環型社会への貢献について報告を受け、以下質疑しました。

- ・木材利用促進月間の周知について
- ・県内公共施設での木材の活用状況について など

○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

第7波における感染症対策の検証と今後の体制構築について報告を受け、以下質疑しました。

- ・障がい者の宿泊療養施設の体制について
- ・観光応援クーポンの利用可能店舗の登録状況について など



会派で議案に関する会期内視察

所属会派・無所属県民会議では、定例会ごとに議案に関する視察を行っています。

今回は、電気代高騰に対応と環境への影響も考慮し、県営住宅共用部の水銀灯をLED化するための事業についてと、埼玉県立文書館の利用状況や運営状況についてでした。

現場を見ることにより多くの気づきがあり、委員会審議に活かされました。



「川口市における県営住宅の整備に関する要望書」を知事に提出

川口市における公営住宅全体に占める県営住宅の割合は25%程度と、さいたま市や他の中核市を大幅に下回っています。また、現在市営住宅として利用している土地を活用できることから、9月26日、大野知事に川口市として県営住宅の整備を求める要望書を提出いたしました。



インターン生を受入れました

昨年に続き、今年も大学生インターンを受入れました。県庁や市役所での勉強会実施や施設訪問、地域行事と一緒に参加してもらいました。

若い方に政治に興味関心を持っていただけるよう、引き続き取り組みます。



屋内50m水泳場整備事業の進捗状況について

埼玉県議会9月定例会総務県民生活委員会において、川口市の神根グラウンドに建設が予定されている屋内50m水泳場について、担当課より報告を受けました。

埼玉県と川口市が協議を進めていくなかで、川口市はPFI事業に参加せず、独自で設計・建設、運営・管理を行うこととなりました。

私からは委員会の場で以下確認しました。
 ・PFI事業に参加しないと、建物の一体感や施工時期に差が生じることはないか
 ・運営や管理が異なることにより、利用者が不便になることはないか
 ・計画が進むにあたり地元住民への説明会を開催してほしいか

よいものになるよう引き続き取り組んでまいります。

(1) 川口市との調整

- 以下について県と川口市で合意。
 - ・ 川口市はPFI事業には参加しないため、PFIの事業範囲は下図のとおりとする。
 - ・ 屋内50m水泳場と市施設である北スポーツセンターは合築施設のため、意匠を揃え、接合部分については相互に利用しやすい形態とする。
 - ・ 県と市の工事・運営等の事業者が別になることから、定期的に県と市の担当者、事業者を交えた情報共有の場を設ける。

(2) PFI事業審査委員会

- 開催日：令和4年9月26日
- 検討事項
 - ・ 実施方針・要求水準書の検討に関する事
 - ・ 事業提案書の審査・評価等に関する事 など
- 今後の予定
 - ・ 2回開催（令和4年度中に計3回開催）

(3) 実施方針・要求水準書の策定及び公表

- 実施方針の内容
 - ・ 民間事業者の募集及び選定に関する事項
 - ・ 事業内容に関する事項 など
- 要求水準書の内容
 - ・ 事業範囲、事業期間、施設計画等に関する事
 - ・ 設計・建設業務、運営・維持管理業務に関する事 など
- 今後の予定
 - ・ 第1回審査委員会終了後公表（令和4年9月30日）し、今後事業者との対話等を実施





ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット「コバドン」
川口市のマスコット「きゅほらん」

発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

Vol. 48 2022. 11

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。朝晩冷え込みが強くなり、起きるのが辛くなってきましたが、各駅・各地でいただくお声掛けが力になり、寒さが吹き飛びます。
さて、今号は知事への要望活動や日々の活動についてご報告いたします。

令和5年度予算要望提出

10月14日に、政策提言に繋がる事項を中心に「令和5年度 埼玉県予算編成に関する要望書」を取りまとめ、知事に提出しました。

県政全般に関わる事項**239**項目、各地元要望**191**項目、合計**430**項目。以下を軸として構成しました。

○「県民の命に直結する施策への重点投資」

- ・新たなフェーズに対応した新型コロナ医療体制
- ・児童虐待防止対策の強化
- ・産後うつ等や育児不安への支援など

○「子供たちの将来を見据えた公教育の推進」

- ・県立中高一貫校の推進
- ・教育DXの推進
- ・スクールカウンセラーの充実による相談体制の強化 など

○「誰ひとり取り残さない就業機会の提供」

- ・コロナ失業への緊急対応
- ・ニートやひきこもりの自立支援
- ・指定難病患者への就業支援体制の構築 など

川口市からは以下の項目を。

- 保育士の賃金改善について
- 区画整理事業の県道整備費の補助率の引き上げについて
- 赤山城跡の保存・整備や用地購入費の補助について



「中距離電車の川口駅停車等を目的とした交通拠点リニューアル等に関する要望書」提出

11月8日に、川口市として「中距離電車の川口駅停車等を目的とした交通拠点リニューアル等に関する要望書」を知事に提出しました。中距離電車停車に向けて、ホームの増設やコンコースの拡幅、通路の拡幅などこれまでより具体的なものが挙げられています。

市としては美術館建設も予定しているので、駅周辺一体整備として考えているようです。しかし、これまでの請願駅の例をみますと費用はすべて市の負担になるので、財源についてももしっかり考えて進めていかなくてはなりません。

引続き県と市のつなぎ役として、皆様のご意見もうかがいながら取り組んでまいります。

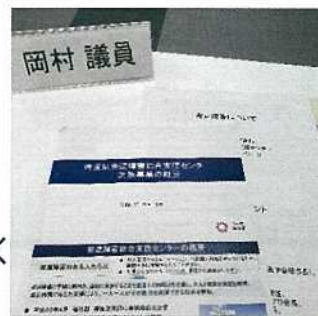


県内視察

10月17日に会派で、戸田市の教育改革について戸ヶ崎教育長にお話しをうかがいに行きました。
 ○各学校でSNSを活用し発信
 ○教育委員会としても戸田市の教育方針を動画で紹介
 ○民間と連携した多様な学びについて
 など先進的な取り組みを知ることができました。



10月18日は有志メンバーで、埼玉県発達障がい総合支援センターに視察に行きました。発達障がいとはどのようなことか、親への支援の必要性、教育現場での支援、相談体制の充実、人材育成についてなど幅広くお話しくださり、勉強になりました。今後の政策提言に活かします。



ご相談対応

県内多くの河川管理は県が行っており、「河川から草が伸び、細い道がさらに細くなってしまいうほど生えているので対応してほしい」とのご相談をいただきました。

現場確認を行い、担当課に話したところ、予定していた除草時期より前倒しで作業していただくことができました。

天候などによって草木の成長も異なるので、安全対策のためにもご相談いただけて良かったと感じました。



これまでもこれからも政党に縛られることなく、多くの皆様に身近に感じていただける存在でいたいと思います。「住んで良かった、これからも住み続けたい」と誰もが実感できるまちの実現を目指し、全力で走り続けます。頑張ります！！



いただいたご意見を担当課へ



知事室にて知事と打合せ



見える活動継続中

☆プロフィール☆

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。(現在41歳)
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女学園高等学校、フェリス女学院大学 文学部卒業、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 修了。
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・2015年5月～2019年3月 川口市議会議員
- ・2019年4月～埼玉県議会議員(県議会第2会派・「無所属県民会議」所属)
- ・趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ミニテニス(身体を動かすことが好きです。川口マラソンも走ります。)
- ・好きな食べ物 ラーメン、チョコミント味のもの
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける



5歳の愛犬・幸



ハッピーリリー 岡村通信



Yuriko Okamura



発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL.048-229-0530

Vol. 49 2023. 1

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。2023年は卯年です。飛躍、向上の年といわれています。健康第一で、たくさん動いて、大きく飛ぶことのできる一年になるよう頑張ります。さて、今号は12月定例会や県内視察などについてご報告いたします。

令和4年12月定例会

埼玉県議会令和4年12月定例会は、12月2日(金)から12月22日(木)まで行われました。

知事から提出された、**483億4,859万1千円**の補正予算は原案通り可決しました。主なものは以下になります。

- ・エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援に関するもの
- ・県議会における情報ネットワークの整備に関するもの
- ・妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援に関するもの
- ・子どもの安心・安全対策の強化に関するもの

～所属委員会報告～

○総務県民生活常任委員会

10件の議案を審議し、**個人情報の保護に関する法律施行条例の条例要配慮個人情報の性的指向・性自認の項目について質疑**を行いました。そして、10件の案件の1つに、国から子どもの安心・安全対策事業の補正予算があります。**送迎バスの置き去りを防ぐため、送迎バスへの安全装置の装備や登園管理システム、ICTを活用した見守りタグなどの安全対策機器の導入に係る経費を支援するもの**です。

○自然再生・循環社会対策特別委員会

資源循環社会づくりについて報告を受け、3Rより一歩進んで、5Rの取り組みを県で進めるべきと考えるがいかがかという質疑を行いました。

○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

第8波における感染症対策の現状について報告を受け、以下質疑しました。
・彩の国新しい生活様式安心宣言の内容の見直しについて
・国の通達を受け現在の学校給食の状況と保護者への理解促進について

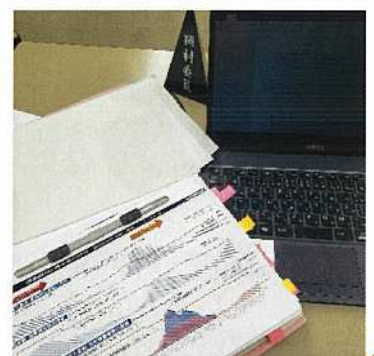
事業概要

子供の安全対策として、子供の送迎用バスへの安全装置の装備や登園管理システム、ICTを活用した見守りタグなどの安全対策機器の導入に係る経費を支援する。

1 送迎用バスの安全装置改修支援		
	幼稚園	小・中学校等
装備の義務化	有	無
補助額	180千円	100千円
補助率	国10/10	

2 登園管理システム等の導入支援 対象施設：幼稚園

	登園管理システム	ICTを活用した安全対策機器
補助額	700千円	200千円
補助率	国4/5・設置数1/5	



拉致問題早期解決に向けて

12月11日(日)、北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る埼玉県議会議員連盟で街頭署名活動を行いました。街頭署名活動は「北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会(救う会埼玉)」の主催で行われ、377名分の署名が集まりました。

現在、川口市では政府認定拉致被害者が5名いらっしゃいます。川口駅での街頭活動にもこれまで参加してきましたが、前進しないのが現状です。風化させず、声を上げ続けることが大切です。引き続き皆さんと活動してまいります。



会派で会期内視察を行いました

12月15日(木)、所属会派・無所属県民会議で12月定例会の議案に関する県内視察を行いました。川越公園と彩の森入間公園の2カ所で、共に敷地が広く自然豊かでした。

川越公園は、様々な種類のプールやテニスコート、フットサル場、ドッグラン、フィットネスジムなどがあり、平日でしたが多くの方々が楽しまれていました。来場者の推移や冬場のプールの活用法など知ることができました。

彩の森入間公園は、水辺のある公園として親しまれており、埼玉県と姉妹都市を結んでいるオハイオ州の公園のような作りになっているとのことでした。花壇の植え替えやイベントの開催など地域のボランティアの方々と一緒にっており、市民参加型の公園運営を行っていると感じました。



県公式LINEの活用

県内の施設・店舗などでお得なサービスを受けることができる「パパ・ママ応援ショップ優待カード」と「まいたまパス」が県公式LINE「埼玉県庁」から利用できるようになりました。

「パパ・ママ応援ショップ優待カード」の利用対象者は以下になります。

- ・県内在住、在園または在学で、18歳に達して次の3月31日を迎えるまでのお子様がいる世帯の方
 - ・妊娠中の方がいる世帯の方
- ※ 同居別居に関わらず、日ごろ子育てを支援してくれる祖父母の方も利用可
- ※ 店舗により、特典を受けられる方が限られている場合があります



読み込んでください➡

国への意見書

任期をいただいた最初の定例会の令和元年6月定例会から令和4年12月定例会まで、国への意見書を毎定例会会派で提案してきました。国に地方の課題を知ってもらいたい。法改正してほしい。財政的な支援をしてほしいなどの想いで、毎回提出に向けて作成してきました。会派として66本、うち私は19本作成・提案しました。

「新規就農者確保・育成を求める意見書」

「新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化を求める意見書」

「児童養護施設退所後の支援の充実を求める意見書」

「不登校児童生徒への更なる支援を求める意見書」

「わいせつ行為で処分された教員に免許再交付を認めないことを求める意見書」

「更年期症状・障害に関する施策の推進を求める意見書」

「児童相談所設置に向けての人的・財政的支援を求める意見書」

など、日頃から課題意識を持っているものやご要望をいただいたものなどについて作成してきました。

県議会として通らないことが多いですが、あきらめずに継続していきたいと思っております。



ハッピーリリー 岡村通信



発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL.048-229-0530

Vol. 50 2023. 2

いつもありがとうございます。立春も過ぎ、明るくなるのも早くなってきたように感じます。今号はこれまで一般質問の振り返りや県の情報などについてです。



県議会議員1期目の一般質問振り返り

この4年間で3回一般質問を行いました。いただいたご意見やご要望、政策として長年取り組んでいるもの、地元に関するものなど身近に感じていただけるよう意識してきました。実現したものの(○印)も多々あります。引き続き皆さんのお声を形にしていけるよう頑張ります。

令和2年6月定例会

- 1 今後の新型コロナウイルス感染症対策について
 - 2 東京2020オリンピック・パラリンピックを成功させるために
 - 3 新型コロナウイルス感染症による部活動の大会中止に関する対応と今後の部活動の在り方について
 - 4 積極的な多胎児支援を行うべき
 - 5 埼玉県みどりの学校ファームの更なる充実を
 - 6 主権者教育を積極的に行うべき ○
 - 7 農業の6次産業化の推進と販路拡大策について ○
 - 8 地元問題
- (1) SKIPシティにある彩の国ビジュアルプラザの活用について ○
(2) 旧鳩ヶ谷教職員住宅の方向性を早期に定めるべき ○



令和3年6月定例会

- 1 一時保護所の在り方について
 - 2 離婚前後の支援と養育費確保について ○
 - 3 不妊症に関する性教育を更に行うべき ○
 - 4 多様性を認め合える学校教育に更に力を入れるべき ○
 - 5 ターゲット・バードゴルフの普及と推進について ○
 - 6 様々な理由でマスクができない方がいることへの理解について ○
 - 7 公衆浴場法施行条例の男女の混浴年齢を引き下げるべき ○
 - 8 屋内50メートル水泳場整備に向けて
- (1) 今後の計画予定について
(2) 地元市との協議と緊密な連携を
(3) 分離設置となることでのメリットについて



【マスクをつけられない方を知っていますか？】
発達障害のある方など、触覚・聴覚等の感覚過敏といった特性により、外出先でのマスク着用が困難な方がいます。
街中でマスクをつけていない人を見かけたら、「何か事情があるのかもしれない」と想像してみてください。
マスクの着用が困難な方がいることを知り、思いやりのある行動をお願いします。
なお、このような方は、外見からは分かりづらい障害などにより周囲の方々への援助や配慮を希望することを示す「ヘルプマーク」をつけている場合があります。
私たちの周りには障害のある方がいるということを知り、その特性や意思表示を正しく理解し、お互いに思いやりの心を持って過ごしましょう。
詳しくはこちらから
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0604/helpmarkmask.html>



令和4年6年定例会

- 1 更なるひきこもり支援を行えるよう県として実態調査をしてはいかがか ○
- 2 警察公舎について
- 3 シングルファザーへの支援の充実を ○
- 4 障がい者アートについて
- 5 親子の面会交流について ○
- 6 特別支援学校にパワーアシストスーツを
- 7 ギフテッドへの理解促進について ○
- 8 廃棄物との見分けがつかない資材置き場の監視や指導の強化について



彩の国「新しい生活様式」安心宣言を一部改定

昨年12月定例会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において、以下の発言をしました。
「国や経済団体連合会、専門家会議などにおいて、これまで行ってきた感染予防対策に変更があり、県としてご協力をお願いしている彩の国「新しい生活様式」安心宣言を改定すべきではないか。ハンドドライヤーは使用が認められている。」

その結果、改定されました。埼玉県ホームページをご覧ください。

New 彩の国「新しい生活様式」安心宣言の一部改定について (R4.12.27)

以下のとおり安心宣言の内容を改定しました。

新	旧
<p>彩の国「新しい生活様式」安心宣言 ～私たちが生活する中で実施することを目指します～</p> <p>1 「5つのP」を徹底する ・手洗いを徹底する ・マスクの着用を徹底する ・換気の徹底を徹底する ・消毒の徹底を徹底する ・検温の徹底を徹底する</p> <p>2 検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く</p> <p>3 安全のための必要にします ・安全のための必要にします ・安全のための必要にします ・安全のための必要にします ・安全のための必要にします</p>	<p>彩の国「新しい生活様式」安心宣言 ～私たちが生活する中で実施することを目指します～</p> <p>1 適切な動作の継続を促す ・適切な動作の継続を促す ・適切な動作の継続を促す ・適切な動作の継続を促す ・適切な動作の継続を促す</p> <p>2 検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く ・検定済みの商業施設に行く</p> <p>3 安全のための必要にします ・安全のための必要にします ・安全のための必要にします ・安全のための必要にします ・安全のための必要にします</p>

主な改定点は、ハンドドライヤーの使用ができるようになること等です。



1月下旬から市内6ヶ所の公民館にて、これからの埼玉・川口を考える会を開催しました。様々なご意見をいただくことができました。引き続き市民目線、県民目線の政治を行ってまいります。

ご参加くださりましてありがとうございました。

埼玉県医療的ケア児等支援センター開設

医療的ケア児とは、人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする児童です。

相談窓口や市町村支援などを担う「地域センター」と人材育成や多機関調整などを担う「県センター」の二層体制により、医療的ケア児等とその御家族が地域で安心して生活ができるよう支援します。

☆埼玉県医療的ケア児等支援センター(地域センター)

かけはし ※ご家族、支援機関からの相談窓口

相談時間: 月～金 午前9時から午後5時まで(祝日・年末年始除く)

電話: 049-225-5770

メール: ikea-center@karugamo.or.jp

住所: 〒350-0844 川越市鴨田1930番地1

(福)埼玉医大福祉会 医療型障害児入所施設 カルガモの家

対象者: 埼玉県内に在住の医療的ケア児等及びその家族、支援機関及び市町村等

業務内容: 医療的ケア児等とその御家族に対する相談支援、市町村及び支援機関からの相談・助言、情報提供、家族支援等



☆埼玉県医療的ケア児等支援センター(県センター)

開設時間: 月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時15分まで(祝日・年末年始除く)

電話: 048-857-1001

メール: a3300-21@pref.saitama.lg.jp

住所: 〒330-0081 さいたま市中央区新都心1-2(小児医療センター南玄関3階)埼玉県発達障害総合支援センター内

業務内容: 医療的ケア児等支援の人材育成・専門人材の確保、支援体制の整備・多機関調整、支援事例・事業所データの集積



今年は統一地方選挙が行われます
県議会議員選挙 3月31日告示 4月9日投票
市議会議員選挙 4月16日告示 4月23日投票





ハッピーリリー 岡村通信



埼玉県マスコット
「コバトン」



川口市のマスコット
「きゅぼらん」

発行責任者
無所属県民会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031
埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

2023年
新年号

川口市の花は鉄砲ユリです
皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と
思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。今回の通信は、埼玉県が進める川口市に関する
事業の進捗状況や昨年の活動等について新年号として作成いたしました。
本年も岡村通信で議会報告含めお伝えしてまいりますのでよろしくお願いいたし
ます。頑張ります！

(仮称)川口北警察署

川口市内の治安状況等に的確に対応するため、また既存の2署は狭隘な庁舎であるため、
市内北東部地域に警察署を新設します。現在認知されている軽犯罪件数は、県内で2番目
に多く、川口警察署での110番受理件数は県内最多となっています。

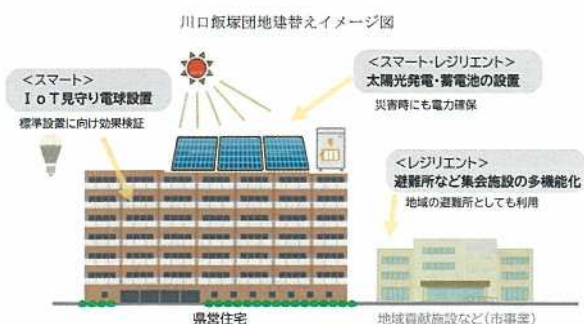
- 事業計画
令和4～5年度 基本設計と実施設計
令和6～8年度 庁舎建設 開所
場所は、戸塚安行駅周辺。鉄筋コンクリート造4階、約5,000㎡



川口飯塚団地建替え

老朽化著しいことから県営住宅川口飯
塚団地の建替えを行います。令和3年に
川口市から要望を行っていました。

太陽光発電及び蓄電池等の導入による
再生エネルギーの利用効率化や災害
時の電力確保、集会所利用や災害時の
避難所利用など施設の多機能性のある
ものになります。



屋内50メートル水泳場

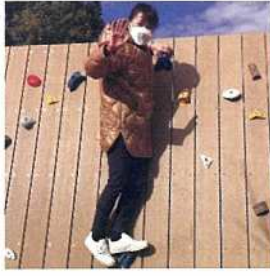
国内主要大会の開催、競技力向上、
県民が水と親しむ環境の創出を目的に、
神根運動場及び神根公園内に設置が
予定されています。北スポーツセンター
との合築になりますが、プールは県が
建設・管理・運営を行い、市の部分に
ついては市が独自で行うことになりまし
た。既存のグラウンド等が確保できるよ
う取り組みを進めます。

- 事業計画
令和4～5年度 要求水準書作成、事
業者選定
令和6年度 設計
令和7～8年度 工事
令和9年度 開設予定

令和4年 活動報告



1月は例年通り、荒川の土手で初日の出を皆さんと仰ぎ、歩こう会に参加しました。グリーンセンターのリニューアルオープンにも行きました。



2月3月は定例会、予算委員会が開かれました。会派を代表し、女性県議と語ろうの会に参加しました。



4月は国立武蔵野学院を視察したり、オンライン研修会では講師を務めました。



5月は埼玉学園の視察や中川綾瀬川流域改修促進期成同盟会総会に出席しました。



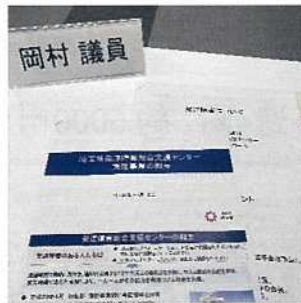
6月は定例会。一般質問で登壇しました。拉致問題早期解決に向けての街頭活動に参加しました。会派でさいたまスーパーアリーナを視察しました。



7月8月は膠原病友の会創立50周年祝賀会に出席。会派で来年度予算編成のための30を超える県内団体との意見交換を行いました。



9月は定例会。拉致問題を考える県民の集いに出席しました。



10月は赤い羽根共同募金の街頭活動に参加。埼玉県発達障がい総合支援センターを視察。会派として知事に令和5年度予算要望を提出しました。荒川ふれあいまつりも開催されました。



11月は知事要望を2回行いました。3年ぶりに委員会視察が行われ、愛知県と岐阜県に行きました。埼玉県私学振興大会に出席しました。



12月は定例会。3年ぶりに川口マラソンが開催され10キロ完走しました。会期内視察を行いました。

新規 子育て支援の充実

子育てに希望が持てる社会の実現

24億3,013万6千円 **拡充** 少子化対策の推進 1億 71万1千円

◆ 安心して出産・子育てのできる相談支援と経済的支援の一体的実施

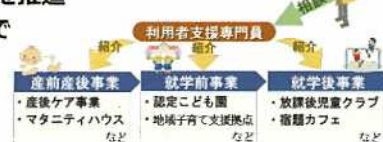
- ・妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を実施する市町村への補助



- ・市町村が実施する第1子以降への給付事業等に乗せて、最大1万円相当のギフトボックス等を配付

◆ 様々な子育て家庭のニーズに対応する支援

- ・多機能型地域子育て支援を推進
 - 産前産後から就学後まで
 - 身近な地域で安心して子育てができるよう市町村と協働して推進



◆ 若年層を対象とした不妊・不育症検査助成費の拡充

- ・若い夫婦の不妊・不育症の検査費に対する助成を拡充
 - 早期検査の受検を促進

助成額 2万円/件 ▶ 女性年齢35歳未満 3万円/件



新規 児童虐待防止対策の強化

1億4,929万8千円

◆ 朝霞児童相談所(仮称)の整備

- ・管轄人口の平準化、迅速かつきめの細かい対応を図るため、朝霞市内に児童相談所(一時保護所付設)を整備
 - 令和7年度開所予定



朝霞児童相談所(仮称)イメージ

誰もが活躍し共に生きる社会の実現

新規 障害児・者の自立・生活支援

1億6,104万円

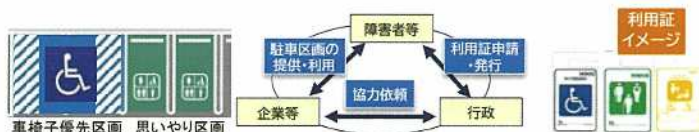
◆ 医療的ケア児等支援体制の構築

- ・地域の実情に応じた支援を充実するため医療的ケア児等支援センターを拡充
- ・特別支援学校に在籍する医療的ケア児が、安心して通学し、学習できる体制を整備
 - 福祉タクシーでの通学に同乗する看護師費用を補助
 - 通学支援のための連絡協議会の設置
 - 看護師の委託方式をモデル校1校で検証



◆ パーキング・パーミット制度の導入

- ・障害者等のための駐車区画の適正利用を推進するパーキング・パーミット制度の導入・運用
- ・事業者や市町村と連携し障害者等のための駐車区画を拡大



一部新規拡充 LGBTQへの支援

3,013万7千円

◆ 性の多様性を尊重した社会づくり

- ・企業向け実践型研修と若者支援者向け講座の実施
- ・埼玉県アライチャレンジ企業の取組の「見える化」



◆ 学校における相談支援等の充実

- ・LGBTQ相談に精通した団体と連携した県立学校相談体制の充実
- ・性的指向・性自認に悩む高校生を対象としたオンラインサロンと相談会の実施
- ・性の多様性に関する配慮事項を定めた取組シートの作成

一部新規拡充 障害者と健常者一体のアスリート支援

6,566万9千円

◆ オリパラアスリートの交流機会の創出

- ・認定証交付式・修了式の同時開催
- ・メンタルトレーニング等の合同研修会の開催



◆ 専門家による支援拡充、発掘による裾野拡大

- ・健常者アスリートに実施していた個別サポートをパラアスリートにも拡充、障害者対象の体験会・測定会の実施



ハッピーリリー
岡村通信



埼玉県マスコット「コバトン」 川口市のマスコット「きゅぽらん」
発行責任者 無所属議員会議員川口支部岡村ゆり子
〒332-0031 埼玉県川口市青木2-9-26アオキビル2F
TEL048-229-0530

令和5年度予算特別号
2023.3

川口市の花は鉄砲コリです

皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と思える幸せなまちをつくりたいとおもいます。

いつもありがとうございます。あたたかくなり例年より早く桜が咲きました。コロナ禍の3年間でマスクをしていましたが、個人の判断に任せるとなりました。マスクの着脱について強要がないように互いに理解を示しましょう。今号は令和5年度の当初予算についてご報告いたします。

令和5年度予算特別委員会

埼玉県議会令和5年2月定例会は、2月20日(月曜日)から3月17日(金曜日)まで行われました。令和5年度の予算を審査する予算特別委員に選任されました。各会派の所属人数により質疑時間が割り振られ、部局別の審査では連日質疑に立ちましたので質疑内容をご報告いたします。(一部抜粋)



3月7日 総務部・県民生活部

- ・女性管理職の育成の考え方について
- ・市町村と連携した防犯カメラの設置事業について
- ・効果的な重点犯罪等抑止対策について
- ・性の多様性を尊重した社会づくりの推進について

3月8日 福祉部・保健医療部

- ・児童相談所のICTの活用について
- ・若年性認知症患者のご家族への就労支援について
- ・離婚後の養育費確保策への財政的な支援について
- ・新設される難病継続申請受付センターの運営体制について

3月9日 教育局

- ・SDGsの実現に向けたモデル校の選定について
- ・LGBTQへの支援の充実としてオンラインサロンの開催と周知方法について
- ・部活動の地域移行推進事業について

3月9日 警察本部

- ・初動警察活動強化のための車載カメラ整備及び運用に関する契約形態について
- ・エスコートゾーンの整備予定について

離婚後の支援については、これまで一般質問で何度か発言・提案してきました。養育費の確保策や面会交流の第三者機関への委託についてなど、予算を新規・拡充させることができました。



今年は統一地方選挙が行われます

県議会議員選挙 3月31日告示 4月9日投票
市議会議員選挙 4月16日告示 4月23日投票



埼玉県議会議員 岡村ゆり子 プロフィール

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女学園高等学校、フェリス学院大学 文学部卒業 明治大学専門職大学院 ガバナンス研究科 修了。
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・2015年5月~2019年3月 川口市議会議員
- ・2019年4月~ 埼玉県議会議員
- ・所属委員会 総務県民生活常任委員会 自然再生・循環社会対策特別委員会 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 図書室委員会
- ・趣味 スポーツ観戦(Jリーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、筋トレ、フラワーアレンジメント
- ・好きな食べ物 チョコミント味のもの
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける
- ・Facebookをやっています「岡村ゆり子」で検索してください。



★★★★ やめよう無関心。まちの未来はあなたから ★★★★★

〈討議資料〉

ポストコロナ元年 ～ 持続可能な発展に向けて ～

① 社会的課題の解決と
経済の両立

② 新型コロナウイルス
感染症の拡大防止

③ 「日本一暮らしやすい埼玉」
実現への加速

一般会計 **2兆 2,110億 9,500万円** 前年度比 ▲0.8%

(全会計合計 **3兆 6,584億 6,987万 5千円**) 前年度比 +0.4%

主な新規・拡充事業 資源のスマートな利用推進

新規 サークラーエコノミーの推進

1億1,708万2千円

- ◆ ワンストップ支援拠点によるマッチング等の支援
 - ・ 産業振興公社にサーキュラーエコノミー推進センター(仮称)を設置
 - 県内企業からの相談対応や普及啓発
 - 販路拡大に向けたマッチング支援等を実施

◆ リーディングモデルの構築

- ・ 県内中小企業等によるビジネスモデルの創出に対する補助
 - 補助率：2/3 補助上限額：750万円
- ・ 県産業技術総合センター北部研究所を食の再資源化に向けたトライアル拠点に位置付け
 - 食品残さを原材料にした商品の開発やマッチングの支援等
- ・ 県有大規模集客施設(埼玉スタジアム)における資源の循環利用の実証及び啓発



新規 脱炭素化とエネルギーレジリエンスの確保

6億5,235万円

- ◆ 認定事業者を通じた設備導入に対する家庭・企業等向け補助制度の創設
 - ・ 安心安全な施工等を行う県内事業者を認定する制度の創設
 - 認定事業者を通じて省エネ・再エネ活用設備を導入する家庭・企業等に対する補助

家庭向け	太陽光パネル(7万円/kW)+蓄電池等(10万円/件)、蓄電池等(10万円/件)、エネファーム(10万円/件)等
企業等向け	太陽光パネル(5万円/kW)+蓄電池(補助率1/3)等、再エネ活用設備(補助率2/3)、コージェネレーション(補助率1/2)

◆ 県有施設への再エネ活用設備導入の推進

- ・ 県有施設における太陽光発電ポテンシャル等調査・導入計画策定
- ・ 環境科学国際センターにおけるモデル事業の設計
 - 再エネ活用設備を設置して災害時に隣接する特別支援学校に電力を供給



輝き続ける人材の育成・確保

一部新規拡充 社会全体のDXに向けた人材の育成

1億2,404万1千円

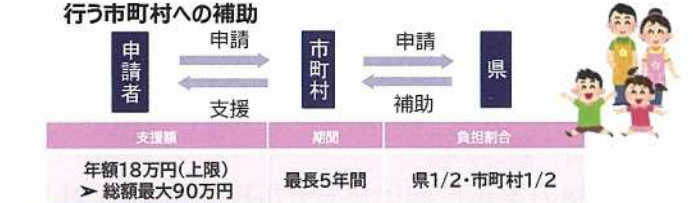
- ◆ 県内中小企業の人材育成
 - ・ 在職者のための技能向上支援講座の拡充
 - AIに使用されるプログラミング言語や教育用キットによるIoTの仕組みなどを学ぶ講座
 - ・ 県内中小企業のニーズに対応した「働く人のためのオンラインDX推進講座」の実施
 - ・ 女性のデジタル人材育成の推進
 - オンライン講座によるスキル習得から就業までを一体的に支援



新規 県の課題解決に必要な人材の確保

6,413万2千円

- ◆ 保育士の確保
 - ・ 県内保育所等で新たに勤務する保育士の奨学金の返済支援を行う市町村への補助
- ◆ 医師の確保
 - ・ 県内専門研修病院の特徴や魅力を発信する特設WEBサイトを構築
 - 後期研修医の獲得・定着を促進



新規 課題発見・解決能力を備えた人材の育成

1,815万円

- ◆ 生徒の学際的な学びの推進
 - ・ 教科等横断型の教育課程の検討・実践
 - ・ 外部施設と連携した探究活動の実施
 - ・ 探究活動等をコーディネートできる教員の育成



災害・危機に強い埼玉の構築

新規 危機管理・防災対策の再構築

2億7,194万4千円

- ◆ 災害時における対応能力の強化
 - ・ 現場と本部でのリアルタイムの情報共有・加工能力の強化
 - ・ オペレーションルームの機能の強化
 - ・ 次期災害オペレーション支援システムの基本設計
 - 全庁GISと連携し迅速かつ正確な情報の発信
- ◆ 災害時における福祉施設の業務継続支援
 - ・ 業務継続計画(BCP)の策定を伴走型で支援
 - ・ 業務継続を支える施設間の相互協力ネットワークを構築
- ◆ 災害時連携民間精神科病院の整備
 - ・ 県と民間病院が連携し、被災した精神科病院の入院患者の受入体制を整備
- ◆ 警察施設の浸水対策の推進
 - ・ 浸水リスクのある電気設備の嵩上げ・止水板設置
 - 非常用発動発電機などの浸水被害を防止



一部新規拡充 防災関連公共事業の推進

124億8,364万7千円

- ◆ 埼玉版流域治水対策の継続と深化
 - ・ 河道や調節池の整備、土砂災害対策などを加速化
 - ・ 情報空白地帯への水位計や河川監視カメラ等の新規設置
- ◆ ドローンを活用した道路法面点検の実施
 - ・ 赤外線カメラを搭載したドローンで緊急輸送道路の法面の空洞等調査を実施
 - 危険箇所の早期発見及び予防保全を図る



県民の暮らしの安心確保

新規 犯罪捜査活動の強化

3,959万6千円

- ◆ パトカー搭載装置の高度化による初動警察活動の強化
 - ・ 債務負担行為 限度額 12億4,588万5千円
 - ・ パトカー等の警察車両に可搬型のタブレット端末と専用カメラを新規搭載
 - ・ 事件・事故現場のリアルタイム映像を本部と共有
 - 迅速かつ確かな初動警察活動を実施
 - 映像データの有効活用
 - 捜査活動や行方不明者の捜索等
- ◆ サイバー犯罪に対する捜査能力の強化
 - ・ 情報通信技術を悪用した新たな手口の犯罪に迅速かつ効率的に対処するための環境を整備
 - 各種情報の照合やデータ分析等の作業の効率化



一部新規拡充 交通安全対策の推進

29億5,591万2千円

- ◆ 通学路グリーンスポットの整備
 - ・ 児童などが安全に待機できる空間の整備
- ◆ 歩道や自転車通行空間の整備
 - ・ 通学路を優先した歩道の整備
 - ・ 安全で快適な自転車通行空間の創出
- ◆ 歩車分離式信号機の整備
 - ・ 既存の交差点を歩車分離化
 - ・ スクランブル方式等、歩行者と車両の通行を分離することで、歩行者の安全を確保
 - R4年度 6基 ▶ R5年度 8基



介護・医療体制の充実

一部新規拡充 人材の確保・定着対策の推進

5億 425万8千円

- ◆ 介護の魅力のプロモーション
 - ・ 現役の介護職員が動画配信や学校訪問で介護の魅力を発信
 - ・ 新たに就職した介護職員を対象にバーチャル合同入社式を開催
- ◆ 外国人介護人材の長期定着を支援
 - ・ 介護事業所向けセミナー・交流会を開催し外国人介護職員の定着を支援
 - ・ 介護福祉士を目指す外国人介護職員の資格取得等を支援
- ◆ 医学生への奨学金貸与枠の拡充
 - ・ 県内の医師不足地域等に勤務することを条件とする奨学金の新規貸与枠(地域枠)を拡大
 - 4大学 33名 ▶ 7大学 45名



新規 地域医療体制の充実

3,357万7千円

- ◆ Tele-ICUによる重症患者の医療提供体制の充実
 - ・ コロナ重症病床のために整備したICTネットワークをコロナ以外の重症患者の治療に活用
 - 連携病院を拡大
 - 5病院 → 9病院
- ◆ 小児・AYA世代の終末期がん患者の在宅医療体制の整備
 - ・ 医療従事者向けに
 - 患者の特徴を踏まえたオンライン研修
 - 疼痛管理等の実技研修の実施



ご自身の希望する場所で終末期を送ることができる在宅医療体制を構築

埼玉県議会議員



柿沼貴志

郷土の声を県政に



希望の芽を出せ柿の種

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
- おもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味:自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年行田市議会議員に初当選(1,759票)
- 平成27年 県議選初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選
- 無所属県民会議(13名第二会派)にて活動中!
- 朝の清掃&挨拶活動は11年目に突入、1,000回を超え継続中
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中!

発行 埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所 連絡先 〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 / FAX 048-577-3154 e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志

検索

令和3年度埼玉県一般会計補正予算 第15号
令和3年度埼玉県一般会計補正予算 第16号

121億4,350万3千円
222億4,429万7千円

累計予算額

2兆7,147億3,871万6千円

令和4年2月定例会の主な内容

公共事業の追加

◆河川事業 ◆道路・街路事業 ◆農業基盤整備・治山事業 ◆公園整備・区画整理事業

県立学校及び社会福祉施設等の老朽化対策、防災・減災対策

- ◆県立学校施設の大規模改修及び空調設備の更新
- ◆社会福祉施設等の大規模修繕や非常用発電設備への助成

災害時の情報伝達・収集体制の強化

- ◆震度情報ネットワークシステム等の更新及び機能強化

その他

- ◆生活福祉資金特例貸付の債権管理事務費等の助成
- ◆介護福祉士・保育士への修学資金等の貸付原資の助成
- ◆公立幼稚園及び県立学校における感染防止対策
- ◆紹介予定派遣制度の活用等による正社員化への就労支援
- ◆通学路における道路標識の設置等の交通安全対策

母子父子寡婦福祉資金貸付事業に係る費用の追加

- ◆就学支度資金など各種資金の貸付に要する原資

国民健康保険事業に係る費用の追加

- ◆市町村が保険給付に要した費用に係る交付金



県政に対するご意見ご要望は
柿沼貴志事務所までご連絡ください



県政報告、ミニ集会、講演依頼等市内何処でも
お伺い致しますのでお気軽にお声がけください

柿沼が令和2年6月定例会で質問した 秩父鉄道の利便性向上



秩父鉄道IC化へ 埼玉県内全ての鉄道がICカード1枚で移動可能に！

ICカード化で便利になりましたが全ての駅が無人化となります。そこで…

- ◆障がいをお持ちの方の利便性、安全性の担保
 - ◆高齢者など急な体調不良や心臓発作が起きてしまった場合の救急対応
 - ◆ホームへの落とし物の処理 ◆無賃乗車対策 ◆不審者などの治安対策
- など今後の課題として対策が必要と感じました。
埼玉県としてどのようにサポート出来るか議論していきます。

柿沼の掲げる教育改革の一環として取り組んでいる県立高専門職の必要性



県立高の専門職増員へ！その先の常勤化を目指す！

県議会に入ってからずっと取り組んでおり、令和3年の12月議会でも一般質問で知事に予算措置をお願いした「県立高の専門家の必要性」

オンライン相談や増員によって、一歩進んだことは大変喜ばしいことですが、相談する側の立場に立った専門職の常勤化と、選ばれる職業になるための福利厚生を含めた社会的地位の確立を引き続き質していきます！

令和4年3月1日毎日新聞掲載

柿の種
架け橋
プロジェクト

市民の皆様から頂いたご意見をしっかりと県に働きかけ様々な安全安心を実現しています。

以前

現在の様子



市内 桜町地区の東小通学路に
横断歩道の設置

以前

現在の様子



市内 駒形地区の白鳩保育園前に
横断歩道の設置

埼玉県議会議員



柿沼貴志

郷土の声を県政に



希望の芽を出せ柿の種

柿沼貴志のプロフィール

- 昭和50年11月11日生まれ
- おもと幼稚園～桜ヶ丘小学校～長野中学～羽生第一高校
- 小中と野球少年だったが、高校から空手道に励む
- 趣味：自転車、野球、ソフト、カラオケ
- 平成23年行田市議会議員に初当選(1,759票)
- 平成27年 県議選初挑戦(12,752票 次点)
- 平成31年 県議選に於いて15,253票の信託を頂き初当選
- 無所属県民会議(13名第二会派)にて活動中！
- 朝の清掃&挨拶活動は11年目に突入、1,000回を超え継続中
- 県民の声を県政に届ける為各地でミニ集会を実施中！

発行 埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
連絡先 〒361-0077 行田市忍 2-17-12

TEL 048-554-1377 / FAX 048-577-3154
e-mail : takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

柿沼貴志 | 検索

令和4年度埼玉県一般会計補正予算
第1号、第2号、第3号合計額

36億2,425万9千円

累計予算額

2兆2,320億8,325万9千円

特別企画 「大野埼玉県知事」対談



柿沼：埼玉県議会議員になってから3年が経ちました。

あっという間でしたが県議会議員という職責の重さに改めて身の引き締まる思いです。これからの埼玉県、そして行田市が発展するためにもいくつか質問させていただきます。

質問①埼玉県の南北格差について

柿沼の視点「県央と連携したインフラ整備を」

柿沼：大野知事は県北にも心を寄せていただいている。知事の考える県北地域の対策についての考えは？

知事：それぞれの地域の特性を把握して良いところを生かしていく。埼玉県としては交通の便が良い、利用しやすい土地があることが他の首都圏にない特徴であると考えている。一方で近い郊外と言う特性もあって、美しい里山と、首都圏に近いと言う利便性も兼ね備え両面の良い部分を埼玉県が持っていると考えている。そうした特性を産業の面からも人の移住の面からも、さらにはまちづくりと言う観点からも生かしていくことが必要である。その中で北部地域は、一定程度の住みやすい良い環境がある一方で首都圏に近いと言う特性を交通の便と共に生かしていく必要がある。県央部のインフラの整備は、県南県央と言うよりも、どちらかと言えば県北のために進める必要があると考えている。

質問②埼玉県の移住施策について

柿沼の視点「災害に強い行田市に移住推進を」

柿沼：行田市は災害にも強いという特性を持っている。人口減少が進む中、移住先には選ばれるための施策はあるか？

知事：県内のIターンUターンの例では、まずはお試しでやってきて、出来ると感じたら家族で引っ越してくるパターンがある。それは近い田舎だったからと言う特性があったのではないかと考えている。現在テレワークとかリモートワークが進んでいるが、毎日通えるエリアではなく、行田でも熊谷でも、とても良い環境がある。特性を生かしてどう使っていくかだと考えている。一方で既にお住まいの方々が、人が少なくなって不便を感じていることも事実である。両面を考えたAIの技術を使ってスマートシティを進め、中央とどう連携をとっていくかが課題である。そういった意味ではDX促進やインフラ整備は県中央よりも県北への効果が高いと考えている。

裏面へ続く



県政に対するご意見ご要望は
柿沼貴志事務所までご連絡ください



県政報告、ミニ集会、講演依頼等市内何処でも
お伺い致しますのでお気軽にお声がけください



表面からの続き

柿沼：県内インフラ整備の費用対効果は県北の方が高いと感じている。行田市は災害にも強いという特性も生かしてアピールしていく必要がある。DX 促進については私の一般質問でも取りあげた秩父鉄道の IC 化も埼玉県が取り組んでくれて利便性が高まったと感謝している。単純に北部開発をすると言うわけではなく、どう開発していくかが大切である。

質問③埼玉県の観光施策について

柿沼の視点「市内多数の文化遺産で観光誘致を」

柿沼：行田市は日本有数の文化遺産があることが強み。県としても力を入れていくべきと感じているがどうか？

知事：行田市のポテンシャルは観光だけではないが、1つの市で周遊して観光が成り立つ市町村はそうは無い。秩父や川越は先行して有名な地域ではあるが、それに続く数少ない地域が行田市である。蓮の公園、忍城、さきたま古墳群どれをとっても魅力があり、古い商店街にも魅力がある。周遊出来る環境づくり、周知が必要。県としても力を入れていく。埼玉県内の周遊もやっていきたい。埼玉県は、入れ込み客数では日本で2番目にもかかわらず、宿泊が伸びない。秩父だけ川越だけ行って帰ってきてしまう。渋沢栄一の時も3賢人を周遊するように促している。今度の補正予算では県内の「秋のバスツアー」にも予算をつけ力を入れている。その中で行田はポテンシャルもあり非常に面白いと思っている。県全体として観光を底上げするため政策誘導していく。

柿沼：行田市は高速道路のインターが東松山と羽生の上に位置しており、上尾道路も順調に進んでいるので更なる観光誘致を期待したい。継続して週末は観光客が来てくれているので強みにして生かしていきたい。

質問④企業誘致や働く場について

柿沼の視点「人口減少STOP！働く場の確保を」

知事：富士見工業団地の拡張も追加予算が決まり進めていく。行田市の更なる協力をお願いしたい。

柿沼：人口減少対策の一つとして働く場は重要である。県が力を入れてくれることは有難い。早期実現のため更なる支援をお願いしたい。

質問⑤生徒目線に立った教育改革について

柿沼の視点「相談体制の強化と予算措置を」

柿沼：私が一貫して指摘している教育改革について。高校は勉強だけでなく、社会に出るための学びも重要。特に二部制高校では何かしらの問題を抱えながら通学する生徒がいる。そうした生徒たちの相談体制の強化を求めたい。効果を出すため専門職の重要性を訴え続けている。加配や勤務状況の改善も少しずつ進んではいるが十分とは言えない。予算措置を含め検討いただきたい。

知事：スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置など専門的に対応できる人員の配置を進めている。他方で全体の予算制約がある中で費用対効果が高い予算配分を考えていかねばならない。例えばオンラインの活用も視野に入れる。ほとんどの子供たちがネットやスマホ環境があるので話を聞くと対面だと話し難く LINE の方が率直に話しやすいという生徒の話も聞いている。問題を抱える生徒のためにセーフティーネットは必要だが、全ての要望に応えることは予算の関係上難しい。柿沼県議の意見も踏まえながら、どこに力を入れていくか検討しながら進めていきたい。

柿の種 架け橋 プロジェクト

市民の皆様から頂いたご意見をしっかりと県に働きかけ様々な安全安心を実現しています。



南河原小学校の通学路が急遽変更になったため、県道にグリーンベルトを設置していただきました。更なる安全性確保のため、押しボタン式信号機も設置要望していきます。

